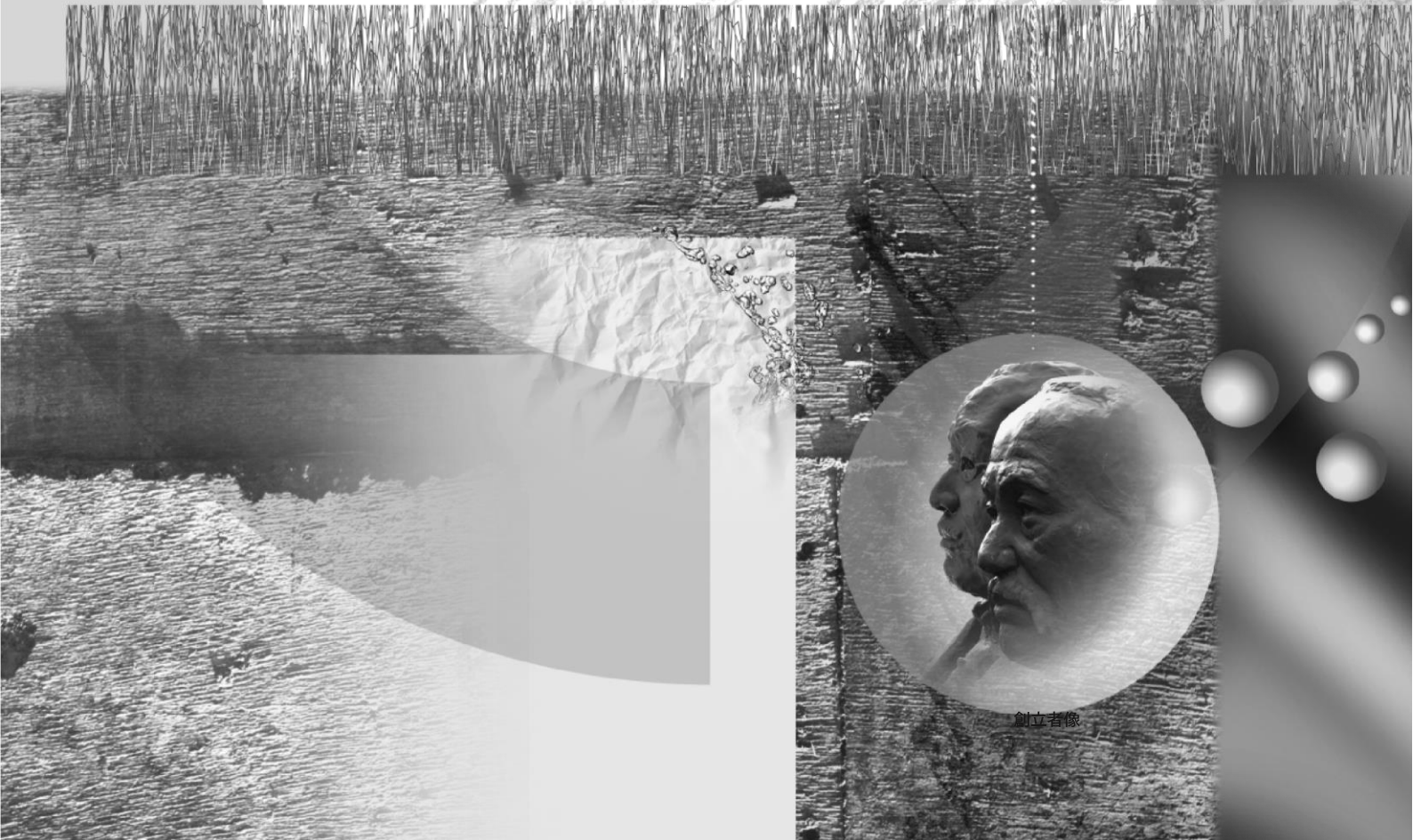
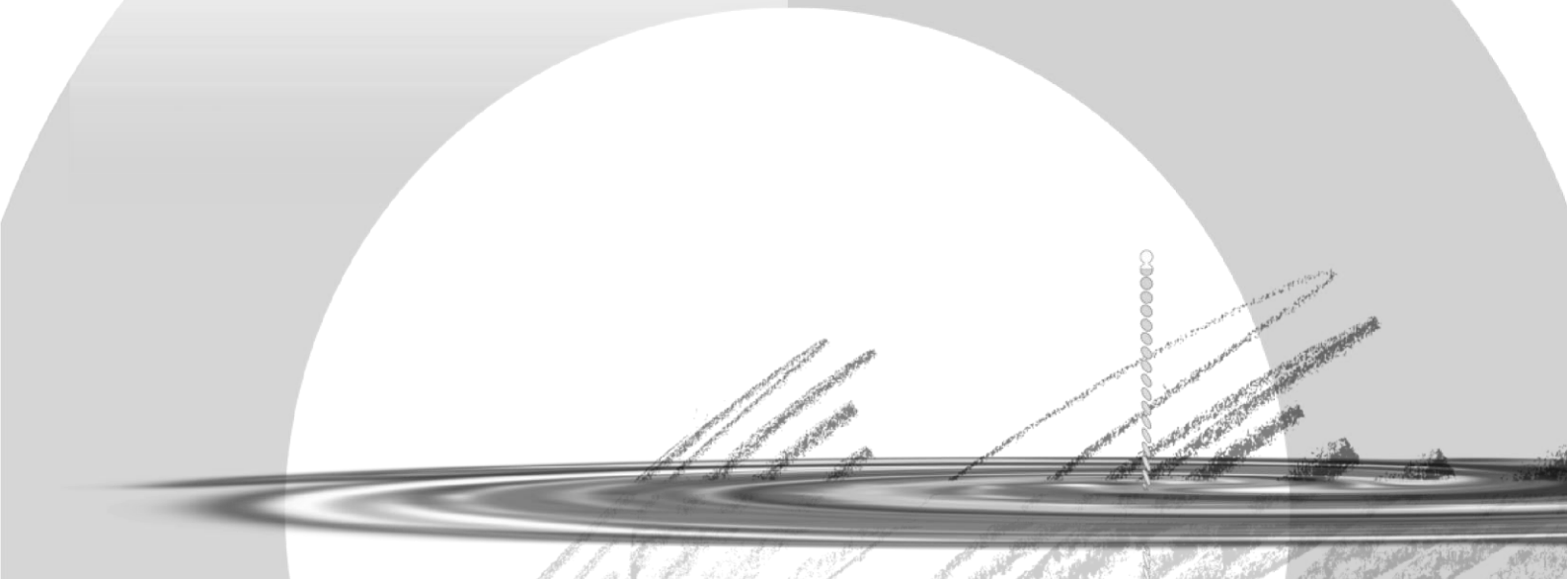


会報

No.57号

平成30年2月



創立者像

高知県立高知工業高等学校同窓会

目次

平成30年度同窓会総会のご案内・参加申し込み

ご挨拶	1
同窓会会長・校長	
卒業半世紀	3
機械科・電気科・土木科・建築科	
卒業四半世紀	7
土木科	
生徒発表より	8
支部便り	11
東京支部・静岡支部・東海支部・大阪支部・安芸支部・ 物部川支部・嶺北支部・幡多支部	
平成30年度開校記念ゴルフ	17
『工業ハ富国ノ基』読書感想文表彰	18
母校だより	
進路指導部より	19
進学指導部より	21
相撲場落成記念イベントを終えて	22
部活動の成績	23
本部より	24
高知県立高知工業高等学校同窓会会則	26
個人情報保護に関する方針	28

創立105周年に思う事

同窓会会長 包國 勝（昭和39年機械科卒）

理念『工業富国基』により明治45年に開校した本校は今年で105周年を迎えました。

これを記念し、母校の11月3日、4日の文化祭に母校会議室を借り、『我ら青春の汗と涙の記録』と題し歴史展を開催しました。105周年記念事業の歴史展では多くの人々に母校の歴史について知っていただきました。新入学生には『工業富国基』で学校の歴史を学習しています。5月4日の開校記念日は、学校の事業として全校生徒、保護者を対象とした『開校記念講演会』を開催、早稲田大学教授の講演と開校についての学習をしています。学校の大きな行事で、隔年で開催されています文化祭には全校生徒はもとより、多くの保護者や地域の方が来られます。この機会に母校の紹介、PRが目的で今回の歴史展開催となりました。実際に見学者は多く、テレビ中継も入り当初の目的を達成することができました。今回も会場は株ユーエスケーの同窓生にお願いし、素晴らしい会場づくりができました。入り口に看板『我ら青春の汗と涙の記録』を設置、続いて105年歴史紹介パネル、竹内綱先生、明太郎先生の写真を配置し皆さんをお迎えしました。今年の特徴としては同窓生出版物紹介コーナーを設け、多くの出版物を提示したことです。相撲部やソフト部などが成し遂げた全国制覇優勝旗14本が圧倒的な迫力で会場の奥に鎮座していました。いずれにしても見学者の皆さんには高知工業高校の歴史について十分知っていただけたと思います。

同窓会活動については、平成29年度総会では講師に初めて土木科の生徒さんに『地域防災力向上への取り組み』と題しての発表をお願いしました。

活動組織『地震班』として平成20年から続けている中学校への出前授業などの成果が評価され、ほうさい甲子園では『だいじょうぶ大賞』や『継続こそ力賞』を受賞している素晴らしい発表で、参加会員の皆さんからも高い評価いただき感謝しています。今後益々の活躍を期待しております。

また、感謝状贈呈規則により100周年記念事業

を成功裏に収めた故宮地彌典前会長をはじめ、同窓会の発展に顕著な貢献をした15名に感謝状を贈呈しました

また三世代表彰は5組のファミリーに記念品が贈られ、歴史の深さを実感する場面でした。

新しく設立された物部川支部や青年部活動には目を見張るものがあり、組織の活性化に大いに貢献していただきました。大阪支部鯨工会は総会を40周年記念総会として位置づけ盛大に開催されました。

平成30年度総会は4月29日（日）昭和の日にザ クラウンパレス新阪急高知にて開催いたします。恒例となりました5月4日の開校記念日は、学校側の全面協力の中、開校記念講演会を開催する予定です。ホームページでは同窓会本部事業並びに各支部が主催する総会などの本部発信情報の他に、各支部やクラブが自由に書き込むことのできる独自のページもあります。

各支部はもちろんクラブ単位での管理投稿ができること、会員個人よりの投稿もできる構成になっております。多くの方に閲覧と活用をして頂きたいと存じます。

組織の健全運営については、終身会員の拡大を図ることや、企業広告を利用することで安定した収入を確保し、効果的な支出計画を立てていきます。今年も各支部総会に参加する若い会員（新成人会員等）の参加会費を本部負担とするなど、組織活性化の援助を継続していきます。

まだまだ課題も山積しておりますが、今後とも会員の皆様のお知恵を頂き、開かれた同窓会として発展していきますよう、ご協力とご支援を宜しくお願いしご挨拶とします。



ご挨拶（校長）

校長 横畑 健（昭和53年情報技術科卒）

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じ上げます。また、日ごろから本校の教育活動の充実・発展のためご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

同窓生の皆様がそれぞれの地域・職場でご活躍されながら、母校に対しても気に掛けていただき、ありがたく、感謝しております。

本年は2年に一度の文化祭を11月3・4日の2日間開催いたしました。前回の文化祭から“高知工業でしかできない文化祭”を目指しておりましたが、本年はさらに各科の食べ物関係の模擬店を止めて、体験型催しを充実させ、ご来場いただいた皆様方に本校での取組やものづくり、また、工業技術や科学の素晴らしさや面白さを感じていただくことを考え、創意工夫をこらし放課後や休日を利用し準備しました。来場いただいた皆様からも、「工業らしさを感じました」「各科にいろいろな企画があり楽しかったです」「小学生や中学生にもっと見てもらえるといいアピールになりますね」など感想もいただきました。

また、学校創立105周年にもあたることから、同窓会による『我ら青春の汗と涙の記録』と銘打った企画展も同時開催され、多くの同窓生の方が学校を訪れていただきました。

5月4日の本校開校記念日に対する在校生の意識を高め、意義深いものとするため、創設者の工業教育に対する高い理念に基づき開設された、早稲田大学の先生方に様々な工学に関する内容をご講演いただく同窓会共催の、“開校記念講演会”も定例化してまいりまして、平成29年度は5月2日に先進理工学部応用化学科 教授 松方正彦 先生をお迎えし『科学が拓く未来のものづくり』と題して講演をしていただきました。化学は工業分野において工業材料の根幹を担い、“産業を支える縁の下の力持ち”であり、すべての製造業の基幹部分を認識し、今一度思いを新たにして、未来を思い描ける技術者を目指し、7つの科それぞれの基礎基本の習得に励んでもらいたいという思いで依頼いたしました。

卒業予定生徒の進路につきましては、企業への就職希望者（卒業予定者の約5割）は全員が早々に内定をいただいております。17年連続就職内定率100%を達成しています。このことは、同窓生の皆様がそれぞれの職場や地域において、活躍され信頼を得ているからこそとあらためまして感謝申し上げます。また、進学希望者につきましては現在も受験活動中ですが、相当数のものが合格を勝ち得ています。特に、国公立大学合格者は昨年を上回る合格者を出しています。

本校は、全国レベルで勝負のできる学校、日本一の工業高校を目指そうと取り組んでおり、これらを具現化していくため、学校の教育活動のあらゆる場面で、学校にイノベーションをという思いで、『イノベーションKT』を合言葉として用いて、革新・刷新を意識し、チーム学校（チーム高知工業）として取り組んでいこうとしております。

全体としてはまだまだ不十分ですが、実社会でも十分通用する難度の高い資格の合格者数や合格率は全国レベルに達しており、各種技術競技会、コンペなどでも、日本一の成果を出し、運動部も含め全国につながる県大会や四国大会でも、これまでなかなか越すことのできなかった壁を超えるなど、少しずつ着実に成果を上げております。

こうした、生徒たちの日頃の活動の様子を逐次ホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

創設者から続くものづくりや人づくりの精神は、連綿と受け継いでゆく必要があります。学校を預かる者として、諸先輩方に続く将来のスペシャリストの育成につとめ、日本の中核を担う工業高校として全国に誇れ、生徒たちが自信をもてる専門高校を目指してまいります。

同窓生の皆様には今後とも更なるご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、同窓生の皆様の益々のご活躍とご健勝を、ご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

卒業半世紀 (昭和42年3月卒)

NC営業で47年

佐々木英明 (昭和42年機械科卒)

担任の徳久隆義先生から「就職希望地が関東なら富士通信機製造(株)はどうか」と勧めていただきました。そのときは通信機を製造している会社くらいしか知識がありませんでした。入社後2週間、会社の歴史や知識、新入社員の心得など教育を受けました。設計や品質管理が希望でしたが予想が外れ、なぜか電子部門で計算制御部の数値制御販売課への配属でした。勤務先は本社・丸の内の古河総合ビルでしたが、商品知識を身に着けるようにと、川崎工場の設計で4か月実習し、8月から営業が始まりました。その間に「富士通(株)」となりました。入社当時の富士通は、「通信と電子」のキャッチフレーズで通信部門(主に電話交換機)の売上が多く、電子部門(主にコンピュータ)はこれからという時代でした。

昭和45年、計算制御部が独立し、「富士通ファナック(株)」になり、同時に会社カラーが黄色に決まりました。商品も社屋も制服や社外文書、取説の表紙や社用車まで統一されて、最初は気恥しかったですが、そのうち愛社精神からか目立つ黄色も良いと思うようになりました。昭和57年には富士通から離れ、現在の「ファナック(株)」になりました。

直属の上司(当時の部長)が昭和31年、民間で日本最初の数値制御装置(Numerical Control=NC)の開発に成功された工学博士で創業者の稲葉清右衛門氏でした。商品名「FANUC」はFujitsu Automatic Numerical Controlの頭文字から生まれました。工作機械に指令テープを読み込ませるNCを付けると、自動制御が可能となり、10 μ m単位で動き、加工精度が一段と向上しました(現在は1 μ m単位のメモリ運転が主流です)。

私は工作機械メーカ(MTB)にNCを売り込み、継続して注文をもらう営業担当であったので、NCのクレーム等でMTBの営業マンと一緒にユーザに謝りに行くことができました。稲葉部長から営業は会社の看板を背負っており、顧客(MTB&ユーザ)から叱られても、決して負

け犬にならないこと、顧客には誠心誠意尽くすようにと教わりました。最初はボール盤メーカーの「碌々産業(港区)」が担当でした。昭和48年からはジグボーラメーカーの「三井精機工業(株)(大田区、現在は埼玉県川島町)」の担当になりました。同社は既に沖電気製NCを採用しておりましたが、“夜討ち朝駆け”で設計担当を訪問し、当社NCも採用してもらいました。受注台数が増えて生産が追い付かなくなることがあり、製造応援も経験しました。またその日に出来た製品(モータやプリント基板)を夕方ライトバンで届けてから、打合せを行い、自宅に帰るのは午前様になることがよくありました。その後シェア100%となり、65歳の定年まで40年間、「三井精機」さんを担当させていただきました。

勤務地は東京丸の内に始まり、富士通ファナック独立後は東京日野市の本社、筑波支社、また日野事業所へ戻り、最後は山梨県忍野村の本社と転々となりました。特に忍野村は富士山麓にあり、夏は快適ですが、冬は氷点下10度を下回ることがあり、とても寒いところでした。営業は個人の力だけでは限りがあり、いかに顧客の要求内容を上層部へ正確に伝達し、設計を含め役員をも動かし、会社の総力を挙げて取り組むことが大事であることを教わりました。平成6年に全社で月1人が表彰されるトップセールスマンに選ばれたことがあり、今では良い思い出となりました。

クラスの同窓会は吉川雪夫君が主幹事としてまとめられ、2年に1回、東京八王子市から駆け付け親睦を深めています。また、陸上部OB会では岡崎格会長様はじめ役員の皆様とのゴルフ、その後の総会、懇親会に参加させていただいています。諸先輩方や卒業間もない後輩とも話し合える楽しい機会であり、1年でも永く続けたいと思っています。

最後に、高知工業高校および同窓会の益々のご発展と、関係者の皆様のご健勝と御多幸を心よりお祈りいたします。

卒業半世紀、なつかしき友に会う

門田権四郎（昭和42年電気科卒）

○半世紀同窓会

卒業半世紀の同窓会に出席できて、本当に良かったと思います。定年退職後、何度か高知市内の同級生を中心に集まり昔話をしていましたが、語り合うたびに、忘れ去っていた出来事が話の中から湧き上がってきて、その場面を思い出させてくれていましたので、今回50年ぶりに出会える同級生との出会いを、楽しみに待ち望んでいました。

2017年4月29日に行われた全体の同窓会で、卒業後半世紀ぶりに出会った電気科の仲間たちは、皆まだ現役と言ってもよいくらい顔色もよく、元気そうな感じを受けました。同級生とはおかしなもので、50年ぶりに会うというのに名前を言われなくても、昔の顔が思い出されて「だれだれだ」と思い出す人や、名前を言われたとたん、フラッシュバックして、一瞬にして思い出してしまうのには、人間の脳の素晴らしさを感じざるを得ませんでした。

「40才を過ぎたら、自分の顔には自分で責任を持ちなさいよ。」と言われたことがありましたが、皆穏やかな落ち着いた顔立ちをしていて、いろいろな人生があったであろうに、それぞれにわが人生を乗り切ってきたんだと感じることができ、頼もしく思えました。

○青春期

ここでわが人生を振り返ってみますと、工業高校の3年時に校長室に呼び出されたことが思い出されます。内容はというと「君たちは大学進学を希望と聞いているが、大学に行くのであれば普通高校に行けばよかったのに、希望先は変わらないか。」という内容でした。今の卒業生は、半数近くが大学進学希望と聞きましたので、50年もたつと変わるものだなと、しみじみと思いだしかみしています。

○転換期

東京の大学で電気科を履修して卒業し、自分が長男坊なので高知に近い大阪の会社に就職し、結婚して長男が生まれた後に、海外単身赴任3年の内示があり、家族で相談の上断ることにすると、さっそく左遷人事で日の当たらない部署に回されることになりました。その頃か

ら、このままいると同じことの繰り返しだと思い、家族と話し合いの末、教師になると決め、教員免許状習得のために、通信教育を始めました。

左遷された場所で、思わぬ収益を上げだした頃、再度の海外赴任のオファーが来たのを機会に、これ以上会社でお世話になった方々に、ご足労をかけるのは良くないと思い、退職する決心をしました。

○小学校の教員時代

退職後、小学校教員の免許状を取得し、大阪での臨時教員の後、高知県教員として採用され、29年間の教員生活を無事に終えることができました。校長として勤務させていただいたのは、横浜新町小学校、初月小学校、潮江小学校の3校ですが、それぞれの学校・子供たち・保護者の皆さん・地域の方々に思い出があり、今もなおお付き合いさせていただいている方々がいっぱいいます。

一期一会の出会いが、まだ続いていることにありがたく、感謝いたしております。

○退職後の人生

教職を退職後は、我々は団塊の世代のため、年金を約6割位しかもらえなくなってきていたので、再就職のお誘いもあり、週休3日の事業所に再就職させていただきました。

63才の時、高知市議会議員選挙に立候補してほしいとの要請を受け、2011年の市議会議員選挙に立候補し、後援会の皆様方のおかげで見事当選させていただき、一期4年間でしたが、学校教育を中心に子供たちの健全育成と子育ての課題解決に向けた活動に取り組み、励んでまいりました。

その後は、教職員OB組織の役員としてのボランティア活動と、今まで係る事の少なかった妻と、ともに行動することに心配りをしながら、ほどほどに身体を動かして、ほどほどに元気で、心豊かにゆったり気長な人生を、楽しめたらいいと考えて、二人で週末山暮らしを楽しんでいます。

元気が何よりですので、同窓会の皆様の今後益々のご健康をお祈りして、便りとさせていただきます。

卒業半世紀を迎えて

福富和平治（昭和42年3月土木科卒）

平成29年4月29日高知工業高等学校の同窓会総会が、盛大に執り行われました。

卒業半世紀を迎えた、42年卒の面々の参加があり、我々土木科から、三谷斉・澤本健雄・関口順一・笠井寛・野村哲・竹村豊・中山純治・片岡学・戸梶章・福富の10名が参加し、卒業半世紀を楽しみました。

昨年の11月頃、高知工業半世紀の世話役の話があり、竹村豊さんと一緒に引き受けたが、多くの参加は難しいと覚悟しておりましたが、各科より多く集まり、ワンテーブル、土木科卒で固めることができ、昔話に花が咲きました。

また、三谷斉氏が高知工業卒業半世紀の卒業生各科の代表として、あいさつをしたことを申し添えます。

私は、高知工業在学中に「サッカー」に出合い、高校卒業後は、大学に進み、46年に高知県庁に入庁し、県庁退職後現在まで、サッカーに没頭し、高知県サッカー協会の役員として、一般の部の世話をしており、今年のえひめ国体へも行っておりました。残念ながら1回戦敗退となりましたが、現在高知県でJリーグに参戦を目指している「高知ユナイテッドSC」の誕生を受け、近い将来国体優勝も狙えるところまで高知県のレベルが上がってきましたので、楽しみなところです。

また、高知ユナイテッドSCは、今年四国サッカーリーグで優勝し、11月10日から開催される日本フットボールリーグ（JFL）入りを懸けた全国地域サッカーチャンピオンズリーグ2017大会に参加されますので、期待に胸膨らむところです。ぜひ頑張ってJFL入りを果たしてもらいたいものです。

さて、昭和46年に入庁した県庁時代は、安芸土木事務所田野詰所へ配属になり、それ以来漁港課・室戸土木・南国土木・河川課・河川防災・・・等平成21年退職まで土木一筋（特に河川畑）でやってまいりましたが、何処の事務所へ配属になっても高知工業の先輩・後輩が数

多くいて本当に頼りになり、誇りにも思っておりました。また先輩のお力添えにより再就職でき、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお祈いします。

高知工業卒業半世紀を迎え、残された人生高知工業の卒業生としての誇りを胸に、仕事と大好きなサッカーにまい進する決意を新たにしました。



卒業半世紀同窓会に参加して思うこと

永野 精一（昭和42年建築科卒）

半世紀同窓会に参加させて頂き、有難うございます。

卒業後の今日まで、高校生活の頃を思い出すことも無く過ごしてまいりましたが、参加の機会を得、同窓との楽しい歓談、当時の学友との交流等の思い出を振り返ることが出来ました。

昨年の12月末ごろ、行きつけの散髪屋で、何気なく聞いていると、中学生と思われる生徒が、来年の高校進学を控え、高知工業建築科の受験を希望しているが、合格出来るのか不安で受験を躊躇していますと、話していました。

当時の自身を振り返り、大変不安だったことを思い出し、懐かしく聞いていました。

そんなことがあって数ヶ月後、高知工業の同窓会事務局から卒業半世紀同窓会（昭和42年卒）の案内状が届きました。

これまで、同窓会（全校）へは、一度も参加していませんでしたので、どうしようか迷っていたところ、高知市在住の同窓生から、卒業半世紀の人を対象とした同窓会で、二度と無いことなので、みんなで参加しようとの誘いがあり、参加の申し込みをしました。

【私の卒業後の経歴】

高校卒業後は、その年の4月に高知県庁に就職、県有の建物（県立学校含む）の設計・監理および建築行政一般（建築確認事務含む）など、様々な仕事を経験しました。そして、60歳に成り、一旦定年退職をしました。

その後、高知県の建築課に再就職、6年間を非常勤職員として勤めてまいりました。

その後、再度の再退職を経て、高知赤十字病院の新病院建設準備室に非常勤として勤務、現在に至っています。

県庁に勤務の時、県立学校施設の担当と成り、工事の打ち合わせの為、高知工業を訪問する機会が有りました。

私たちの利用（勉強）していた建物、校舎、体育館、実習棟、同窓会館（食堂）等が、新し

く建替えられ、昔の面影が無くなって行くのを、寂しく思ったことです。

【半世紀同窓会総会に於いて】

土木科発表会で、生徒達のハキハキとして堂々とした発表態度に、感心して拝聴していました、私たちの当時とは、だいぶ違っていると感じつつ、ふと、当時の生活を思い起こしていました。

文化祭の出展作品をみんなで夜遅くまで制作したこと、体育祭での足場等の製作、製図の実習室を抜け出しソフトボールに興じたこと、2年の時の修学旅行等々の楽しい思い出、同時に、授業時間数が多く夏季授業は、暑く大変だったこと、テスト期間中夜遅くまで勉強したことなど、つらいことも思い出します。しかし、不思議なことに楽しい思い出は、昨日のこの様に鮮明に思い出されます。

【同窓会后、思ったこと】

私が、希望の職業に就き、この半世紀を大過なく終え、これまで来られたのは、高校生活での勉強・学友との交流で得た専門知識・経験の支えが有った為だと思って、感謝しています。



卒業四半世紀 (平成4年3月卒)

『卒業四半世紀を迎えて』

鎌田 卓 (平成4年土木科卒)

平成29年4月29日に開催された高知工業高校同窓会に卒業四半世紀の卒業生として出席させていただき、お世話になった恩師、懐かしい友人に久しぶりにお会いし、楽しい時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

さて、四半世紀も前の在学時代の話になりますが、私が入学した平成元年は大規模な都市開発や公共事業など、日本全体がバブル景気に賑わっていた時代であり、就職などへの不安もなく過ごしておりましたが、卒業を目前にバブル景気は弾け、景気が低迷するなど、目まぐるしく変化する時代でしたが、在学中は恩師、科を越えた多くの友人に支えられ、楽しく過ごしたことを昨日のように思い出します。

私事で恐縮ですが、卒業後に建設省（現国土交通省）に入省し土木技術者として、高校時代に学んだ知識を自分なりに発揮して、日々インフラの整備、維持管理などを行っております。

国土交通省は旧建設省、旧運輸省などが統合され、河川、道路、空港、港湾、公園などの社会インフラの整備、維持管理を行い、地域の方々の安全安心を確保するとともに、より良い生活環境の創出を行っており、そのような業務を行う中で高知工業高校を卒業した先輩、友人、後輩にもお会いすることがありますが、皆さんが土木や他分野でご活躍されていることを耳にすることを誇りに思っております。

話は戻りますが、国土交通省では、先に述べた社会インフラの整備、維持管理に加え、今後30年以内に70%程度の確立で発生すると言われていた南海トラフ巨大地震の対策を推進し、地域の安全安心の確保を目標としております。

また、近年の集中豪雨、東日本大震災など想定を越える自然の驚異を全て防ぐことは厳しい現実であり、一人一人が減災、防災意識の向上

にも取り組んでいただき、ハード、ソフトの両方が機能して、皆様型の生命、財産が守られると思っております。

しかし、行政だけでは社会基盤を支えることは困難であり、地域住民をはじめ、コンサルタント、ゼネコンなどのご協力を受け、官民が一体となって整備などを進めていくことが重要であり、そのような分野でご活躍されている高知工業高校を卒業された皆様を含め、地域と連携して安全安心の確保に努めたいと思います。

今更でございますが、偉大な先輩、頼りになる友人、後輩を多く輩出された、すばらしい高知工業高校を卒業したことを大変誇りに思っております。

卒業から四半世紀とまだまだ若輩者でございますが、引き続きご指導、ご鞭撻をお願いして会報とさせていただきます。



生徒発表より

地震に関する地域防災力向上への取組

高知県立高知工業高等学校 土木科

1. はじめに

高知県では近年、南海トラフ地震の襲来が心配されている。本校でも震度6強、津波浸水高さ3m、液状化による被害、1ヶ月以上の長期浸水等が想定されている。そこで私たちは、来たる南海地震の被害を減少させるため、地震防災の啓発などの地域防災力向上に役立つ活動を行っている。

2. 活動の経緯

地震工学は土木工学の重要な分野の一つであり、地震に関する知識を身に付けることは、土木工学を学ぶものとして重要な内容である。そのため、課題研究という授業のテーマに、南海地震を中心とした地震防災を選択し、それに関する勉強を平成17年度より始めた。この当時は、東日本大震災よりも前なので、高知県の地震防災に対する意識は低く、自主防災組織率も50%以下であった。そして、このままでは、いざという時多くの命が奪われる、そうならないために地震防災を広めていかなければならないと思い、地震防災啓発の取り組みを開始し、毎年継続して行っている。平成18年度には本校の地震防災に関して当時の想定をもとに学校の危機管理マニュアルの見直しを提言した。平成19年度には工業の専門科の枠を超えて協力し、ソーラー非常誘導灯の設置をした。平成20年度からは高校生が講師を務める出前授業を開始した。

また、これらの活動が評価され平成20年度には、兵庫県、毎日新聞社等が主催する『ぼうさい甲子園』で『だいじょうぶ大賞』を、平成25年度には『継続こそ力賞』を受賞している。

3. 地震の学習

まずは地震を知らなければならない。初めは図書館、インターネットを活用して勉強をした。それから、現在の被害想定や対策を知るため、高知県庁、高知市役所の方に協力を求め数回学びの場を設けてもらった。また、地震に関する講演会等に積極的に参加し学習をした。特に、東日本大震災以来、地震に関する防災意識は急に高まり、近年は非常にたくさんの講演会に参加することができた。

また、本校では朝の新聞タイムという活動を行っている。始業前の8分間、先生、生徒が選んだ新聞記事を生徒全員が読む取り組みである。この記事の選択に地震防災に関することは数多く採用され、本校生徒は情報を共有できている。特に近年は南海トラフの巨大地震の新想定が出され、それに基づく揺れ、津波、被害予想などが多数記事になり、それに伴う行政の対応や、各地での避難訓練や防災力向上への取り組みなどの記事が随時選択された。それだけでも、本校生徒はかなり地震防災について勉強できていると思われる。

4. ソーラー非常誘導灯の設置

本校は地域の方々の災害時避難場所に指定されている。平成19年度より、校内の防災力向上のため工業高校の特色を生かし、土木科・電気科・機械科が連携して災害時の停電に備え、図1に示すような、ソーラー非常誘導灯の設置を行った。当時の想定では本校の津波浸水高さは2mであったため、2mよりも高い位置にコントロールボックスなど電気系統一式を配置した。また、いくつかの表示板には蓄光

素材を利用しており、電灯消灯後も6時間以上発光するようにした。

各科の専門性を生かし、基礎は土木科が、非常灯本体（ポール、筐体）等を機械科が、電気系統を電気科が担当した。それぞれサイズを決め、設計では日本照明器具工業会の規定JILに基づいて計算を行った。設計計算後、各科で製作にとりかかり、平成19年度に2基、平成20年度に1基、平成24年度に1基完成させた。また、平成20年度には近隣地域の要請で、高台に避難するためのソーラー非常誘導灯を設置した。

今後も校内の防災施設整備に関して課題研究等を利用し、科の枠を越えて取り組んでいきたい。



図1 ソーラー非常誘導灯

5. 出前授業

地域防災力向上の取り組みの一つとして、小・中学校へ行き、私たち高校生が講師を務める地震防災出前授業を行っている。内容は、地震の基礎的知識、南海地震のメカニズム、過去の被害、次に来る南海地震の予想被害、過去の地震での教訓、地震直後を生き残るための対策を中心としている。形式はプレゼンテーションソフトを利用した講演と、クラスごとに教室で行うワークショップを構えている。

講演会では、地震の基礎知識の後、「地震発生時には何もできない」、「地震発生時いかに生き残るか、そのための対策をしているか」、「家具の固定と寝室に靴」、「生き残っていかに津波から避難するか」ということを強く訴える内容にしている。特に東日本大震災では、津波ハザードマップの危険地帯に含まれていない地域の方々が多く亡くなっている報告がある。地震防災を勉強し、防災意識を高く持ち、すぐ津波から非難することが、命を守り被害を減らす第一歩であることを強調するようにしている。

この出前授業は平成19年度から計画・準備していたが、依頼はゼロであった。20年度は1校、21年度は2校（ただし、新型インフルエンザのため中止）、22年度は1校の依頼があった。東日本大震災後の23年度は依頼が急増し、8校で行い、24年度は9校、25年度は5校、26年度、27年度4校など非常に多くの学校へ出前授業にいった。図2に全体講演の様子、図3・4にワークショップの様子を示す。



図2 全体講演の様子



図3 ワークショップの様子1



図4 ワークショップの様子2

これらの活動により、地震防災に対する意識が高まり、小・中学生が大きくなるたびにさらに勉強を重ね、次は広げていく側になってほしいと思う。また、小学校での授業では保護者の参加もあった。幼い子供を持つ親は子供を守ろうとするモチベーションが非常に高い。児童とともに保護者も一緒に学習することがよりいっそうの効果を生むと思われるので、今後は小学校低学年や幼稚園・保育園にも出前授業に行きたいと考えている。

また、2年前から新たな取り組みとして、中学生が講師となり、近隣小学校や近隣地域にて出前授業を行うための講習会を行っている。本校にて、講演やワークショップの仕方を教え、パワーポイントなどの資料作成技術も講習し、講習後はデジタルデータを提供し、出前授業の支援も行う。防災意識の高

い中学生がさらに身近な小学生等に教え、地域の防災力向上につながればよいと思う。昨年は1校が小学校へ行って出前授業をした。この活動がもっと広がっていけばよいと思う。

6. 高知県建設系教育協議会による支援

高知県建設系教育協議会は、建設系技術者の育成のため、高等学校、高等専門学校そして大学が垂直に連携し、社会に求められる建設技術と、これを動かす人材の教育・育成を目指している会である。この会から高校側は多大なる支援を受けており、そのうちの一つ、課題研究支援事業では、大学・高専の先生がアドバイザーとして支援していただき、多数の先生方から助言や情報をいただいている。特に出前授業に関しては、講演内容の確認や助言、いち早い情報提供など専門家の指導のもとに実施できることは非常に心強い。

7. おわりに

東日本大震災の時、救助の要である道を開いたのは建設業関係者である。報道では自衛隊がよく強調されていたが、一番先に被災地に入るのは、道を開く土木屋である。改めて土木教育の重要性を認識した。そして、建設業の衰退イコール防災力の衰退ではないかと思つづく思った。

そして、防災力向上の鍵となる一つは、やはり、市民の防災に対する意識だと思う。小・中・高校生うちに防災学習を繰り返し、防災意識を高める事が必要であり、また、今高まっている防災意識を衰退させないことが必要である。そのためにも、私たちは地震防災出前授業等を継続して行い、地域を巻き込んだ地域防災力向上の取り組みを続けていきたいと思う。



東京支部（桂工会）

支部長 谷岡 健吉（昭和41年電気科卒）

4月29日の同窓会本部の総会・懇親会（ザ クラウンパレス新阪急高知）には支部代表として谷岡健吉が出席しました。

6月9日には定例の支部役員会を八重洲倶楽部で開催し、今年度の支部総会・懇親会も昨年同様に簡素化によって経費節減を図るとともに、今後これを定着させる方針を決めました。また次年度の支部総会・懇親会は平成30年10月13日に開催することも決定しました。

若手の同窓会参加は東京支部においても喫緊の課題となっています。このため7月30日に仁井田英夫副会長が平成29年卒業生との面談・昼食会を開催し、新卒者の皆さんに総会・懇親会への出席を呼びかけました。

10月14日（13：00～14：45）に銀座一丁目の『TOSA DINING おきゃく』で開催した総会・懇親会には、来賓として母校より横畑健校長先生、同窓会本部からは包國勝会長、早川紀夫相談役にご臨席を賜りました。また高知県東京事務所からは総務課長の小松信彦氏、高知県移住促進・人材確保センターからは大石春峯氏がお越しくださいました。さらに前母校土木科の上原健先生（安芸桜ヶ丘高校教諭）にも来賓としてご出席いただきました。今年も同窓会本部からの新卒・新成人の参加者への経済的ご支援と、熱血漢の上原先生による関東地区在住の『教え子』へのお声がけなどで若手会員の参加が目立ったにぎやかな懇親会となりました。

今年度の高知県人会関係では11月10日の関東高知県人大懇親会に桂工会代表として仁井田英夫副会長が出席しました。

今後の予定としては、平成30年2月の母校での同窓会入会式への出席、また3月に副会長以上による役員会を開催して29年度の東京支部桂工会の活動をすべて終えることとなります。



静岡支部（静桂会）

支部長 小川 純一（昭和37年機械科卒）

2017年のNHK大河ドラマ『おんな城主 直虎』の舞台になっている遠江国伊井谷（いいのや）は、現在の静岡県浜松市北区引佐町になります。主人公の女領主、井伊直虎にあやかり地元はかなり元気になっているようです。お蔭様で静岡では豪雨や地震などの災害もなく支部の皆様もお元気で頑張っています。今年も支部活動に尽力してまいりますので宜しくお願いします。

平成28年度活動報告

○11月6日

静岡支部（静桂会）総会開催（静岡市クーポール会館）
包國同窓会会長と横畑学校長にご出席して頂き、賑やかな総会となりました。

○平成29年1月下旬

『卒業生に贈る言葉』寄稿（公文幾夫氏 昭和29年機械科卒）



平成29年度活動報告

○4月29日

本部総会へ支部長及び事務局長が出席（クラウンパレス新阪急高知）
本部総会において、支部活動への貢献に対し包國会長より小川支部長に感謝状と記念品が贈呈されました。片岡事務局長が卒業半世紀としてお祝いを受けました。

○11月5日

静岡支部（静桂会）総会開催（静岡市クーポール会館）

東海支部（南風会）

支部長 松村 司郎（昭和36年電気科卒）

東海支部の若返りが近年の目標でしたが、4、5年来新卒者を含めて若返りが進んでいます。今年の支部総会では平成卒業生が30%を占めました。この勢いを維持すべく頑張りたいと思います。

小松工業高校同窓会中京支部との交流も円滑に進んでおり、定期的開催されるゴルフコンペもその賑わいを維持しています。



第17回K&Kゴルフ親睦会
クレセントバレーカントリークラブ美濃加茂

大阪支部（鯨工会）

支部長 堀田 秀雄（昭和43年土木科卒業）

同窓生の皆様、体調の方はいかがでしょうか。

平成29年の夏は猛暑が続き、いつもの年よりは体の維持管理が大変だったと思います。逆に秋は短くあっという間に寒くなりました。

大阪支部（鯨工会）は、おかげ様で平成29年度に40周年を無事迎えることが出来ました。本部からは包国会長含む21名の方々が出席されました。また県立小松工業高校OB、関西支部の役員3名の方も参加出席され、全体で84名になりました。

場所も大阪リバーサイドホテルに変更し、芸達者な方々が腕前を披露した会は大いに盛り上がり、無事に完了する事が出来ました。

本部の方々また、出席参加された方には厚くお礼を申し上げます。



平成29年度活動状況

- 4月29日 本部同窓会総会 堀田支部長出席
- 6月17日 大阪支部（鯨工会）総会開催（大阪リバーサイドホテル）
- 10月5日 鯨工会ゴルフコンペ開催（枚方国際ゴルフ倶楽部）
- 10月14日 役員会開催
- 平成30年1月 拡大役員会開催予定
- 3月 鯨工会ゴルフコンペ開催予定

平成30年度活動計画

- 4月29日 本部同窓会総会 出席予定
- 6月16日 大阪支部（鯨工会）総会開催予定
- 7月 役員会開催予定
- 11月 鯨工会ゴルフコンペ開催予定

安芸支部（芸工会）

黒岩 良行（昭和40年電気科卒）

安芸支部（芸工会）も平成18年8月に発足し、12年目を迎える事となりました。発足当時元気だった会員も段々と年を重ね、今は会員の若返りが課題となってきております。そういった中、9月9日に包国会長、横畑校長、矢野事務局次長にご出席頂き、支部総会を開催しました。和やかな雰囲気の中、いくつかの会員増員策が提案されました。又、懇親会ではあちらこちらで昔話に花が咲くなど大いに盛り上がりを見せ、最後は、校歌斉唱で、同窓の絆を深めました。

平成29年度活動状況

- 4月29日 本部総会出席
- 7月28日 役員会開催
- 9月9日 第12回芸工会総会開催
- 10月 役員会開催予定
- 12月 忘年会開催予定



役員改正のお知らせ

- ・ 会長 黒岩 良行（S40テ卒）
- ・ 事務局長 山手 敏和（S49テ卒）

物部川支部

支部長 眞辺 慶一（昭和42年電気科卒）

物部川支部は平成28年7月に物部川の流域である、香美市と香南市の同窓生を中心に発足をしました。発足にあたりましては同窓会本部のご指導、ご支援を頂き51人の同窓生により、スタートを切ることができました。

まだ発足して1年の『新米』の支部で活動は何も行っていませんが、先輩支部の活動を参考にさせて頂き、新卒者にも積極的な声かけを行うなど、活発な支部にしたいと考慮をしているところです。

今後も支部活動に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

平成28年度活動計画

- 1月21日 支部新年会 35名参加

平成29年度活動状況

- 4月29日 本部総会へ出席（物部川支部旗を贈呈頂きました）
- 7月8日 支部総会 42名参加
- 1月20日 支部新年会



平成29年新年会



平成29年度総会

嶺北支部（吉野川会）

支部長 西村 行雄（昭和37年土木科卒）

初冬の候 同窓生の皆様方におかれましては、益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

本年は、当地区では自然災害など大きな被害はありませんでしたが、同窓生の皆様にはお変わりありませんでしたでしょうか。

当同窓会では、地域の清掃活動で公園の清掃、花壇の花植えを行っております。活動に参加していただける会員も高齢、少数化しておりますがより多くの同窓生に参加してもらえるよう、頑張って地区の同窓会を盛り上げていきたいと思っております。

当地区の同窓生の参加を宜しくお願いいたします。

平成29年度活動状況

- 4月29日 本部同窓会出席
- 9月29日 嶺北支部役員会
- 11月26日 公園清掃・支部総会



幡多支部（波多愛校会）

支部長 福田 充（昭和44年建築科卒）

総選挙も終わり自公圧勝に終わり、野党は分裂し会派が別れ今後どうなる事でしょう。元気な日本再生・地方創生を願いたいものです。

さて暦の上では晩秋から初冬へと季節は移行し、幡多路では一條大祭（いちじょこさん）をはじめ6市町村各地で神祭・イベント等、母校同窓生も加わった催しが続く予定です。

【支部総会】

6月31日四万十市に於いて本部より、包国会長、横畑校長、矢野事務局次長のご参加を得て、出席者27人で開催しました。

昨年は総会が出来なかった為、今年は独断で開催を決めたにも関わらず、多くの同窓生がご出席下さいました。総会では寛容な心で承認をして頂き、改めて同窓生は素晴らしいと感じました。

懇親会は和気あいあいと約2時間、酒宴や記念撮影を行い親睦を深めました。

私達幡多支部は、年1回の総会・親睦会を目玉とし頑張っていきたいと思っております。同窓生の皆様のご連絡や総会へのご参加をお待ち申し上げます。





平成30年度開校記念ゴルフ大会開催のお知らせ



高知県立高知工業高等学校 平成30年開校記念ゴルフ大会のご案内・申込書

主催 高知工業高等学校同窓会ゴルフ部会

記

平成30年度開校記念ゴルフ大会を下記の要領で開催することになりました。ゴルフ愛好家の皆様の多数の参加をお待ちしております。

1. 日 時 平成30年4月28日（土曜日）
スタート9時30分頃の予定（若干の時間の変更はあります）
2. 場 所 土佐山田ゴルフ倶楽部
香美市土佐山田町楠目字油石3594-1 (TEL) 0887-52-3161
3. 参加資格 同窓生 教職員 ご家族の方
4. 競技方法 18ホール ストロークプレイ HC ダブルペリア方式
5. 参加料 2,000円（プレー費は自己負担とする） ※セルフプレイになります
6. 参加申込み・お問い合わせ
申込み・問い合わせ先 高知工業高等学校同窓会事務局
住 所 高知市棧橋通り2丁目11-6
TEL・FAX 088-831-4133
7. 申し込みは3月31日までにお願いいたします。
（組合わせ表は4月15日ごろ発送予定です。）

※出来るだけ1組単位での申し込みお願いいたします。

申し込みは郵送・FAX・電話で受付いたします、必要事項のご記入、ご連絡よろしくお願ひ申し上げます。

又、組合せ表は決定後、代表者に郵送させていただきます。

平成30年度開校記念ゴルフ参加申込書

代表者氏名		電話		FAX	
卒業年・科		住所			

1組				
参加者名	卒業年	科	住所	電話・FAX

2組				
参加者名	卒業年	科	住所	電話・FAX

『工業ハ富国ノ基』読書感想文表彰

新入生の皆さんに創立者の伝記『工業ハ富国ノ基』の読書感想文を書いてもらっています。優秀作品の表彰は、12月22日の2学期終業式の間で行いました。入賞した生徒さんは次の通りです。最優秀作品を掲載しています。

- | | | | |
|-------|---------------|-----------------|--|
| ● 最優秀 | 佐藤 龍平 (建築科) | | |
| ● 優秀 | 山下 龍矢 (機械科) | 上野 龍 (電気科) | |
| | 山下 龍平 (情報技術科) | 中野 大輝 (工業化学科) | |
| | 竹内 大輝 (土木科) | 藤田 龍輝 (総合デザイン科) | |

最優秀

私が明太郎先生に教えてもらったこと

建築科

佐藤 龍平

まずこの本を読み終えて私が思ったこと、読む前から想像していた通りやはり難しかった。普段300ページ程度の小説なら簡単に読めるのだが、この本は非常に大変だと感じた。

しかし読んでみて自分の中に残っている文がいくつかある辺り、意外と楽しんでたのかもしれない。一度集中すると数十ページあっという間に読んでいて気付けば夜中の2時前だったこともあったのだから。

私がこの本を読んで驚いたのは、明太郎先生の行動力である。父の綱先生より任せられた芳谷炭坑から始まり、自らが考え行動し学んだことを己の中に留めておくのではなく、周囲にも伝え幅広い知識を身につけるといふ所にとっても考えさせられた。

また、明太郎先生は分からないことや疑問があれば、作業員をつかまえて直接説明させたという。今述べた2つのことは、私達の普段の生活にも当てはめることが出来ると思う。『自らが考え行動し、学ぶ』ということは、勉強の面でも部活動の面でも、またはゲームなどの娯楽の面でもそうだと思う。やはり何事も自らが誰に言われるでもなく面白いと思ってやるのが大切だと感じた。

私はこの本を読んでいて、明太郎先生は全てのことにおいて興味を持ち行動に移していると

感じた。

2つ目は『分からないことや疑問があれば直接』という点である。これも1つ目と同じ面になると思うが、自分が納得するまで直接聞くということは小さいころから言われていたこともあり、とても共感できた部分である。

もう一つ私の中に残った言葉が『人づくりこそ企業の礎であり、国を興す礎である』という言葉である。

何事に対してもやはり半端な人間ばかりでは成り立たなくなってしまうだろうし、何をやるにしても必ず必要になるのは人間であり、その人間が半端では土台を作るどころの騒ぎではなくなってしまうだろう。衰えたものを再びというのはそう簡単にできることではない。その為の土台作りをするには、しっかりとした人間が必要であるということだ。自分はまだ16歳なのでしっかりとした人間とは何かと聞かれても、当たり前のことを当たり前出来る位しか思い浮かばないので、これから先大人になるにつれて分かていきたい。

最後に、私がこの『工業ハ富国ノ基』を読み終えて、自分も新しいことを恐れるのではなく何事にも手を抜くことなく全力で強い思いを抱いて生きていきたいと思った。そうすればきっと夢も叶うだろう。

母校だより

平成29年度の就職状況について

進路指導部長 澤田 浩志

本校同窓生の皆様には日頃より大変お世話になっております。進路指導部より本年度の就職状況を途中経過ですが、ご報告させていただきます。

本年度は129名の生徒が就職を希望しており、11月10日現在108名が内定をいただいております。内、公務員希望が26名です。民間企業につきましてはほぼ終了している状況です。公務員では、高知市役所6名が技術職で内定をしております。

次に求人数ですが、今年度も昨年に引き続きさらに求人依頼は増加しております。今年度も県外企業からの求人依頼が増えており、製造業を含め土木・建設業など多業種にわたり求人依頼が発生しているのが特徴です。また、地区別では関東・関西はもちろん九州地区からの求人もあります。ただ、限られた就職希望者の中で、すべての求人依頼にお応えすることができなく大変心苦しい心境であります。今後も、就職希望者の大幅な増加がない限りこの問題は解決しそうにありません。今年度は例年と同様に、就職・進学希望率が半数ずつとなっておりますが、就職希望者の内、県内希望の生徒が6割となっております。これは、さまざまな報道等でもあるように県内企業の人材不足で、高卒・大卒ともに就職環境が売り手市場の状況にあり、県内企業の求人が高い水準を維持しています。本校への求人も昨年より2割増となっております。

生徒は部活動や各科の先輩方とのつながりを重要視しており、これまで実績のある製造業を中心に各専門分野を活かした受験先を志向する傾向が続いております。結果、各企業でご活躍されている諸先輩方のお力添えや、就職試験直近の面接指導、進路ガイダンス等の各事業へのご協力による賜だと感じております。そのような活動が実を結び、各企業が本校に対する期待

度の現れとなって、ここ数年早い段階での内定をいただくことができております。あらためてお礼申し上げます。

求人数の推移(過去5年間) ※平成29年11月10日現在

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
求人総数[社]	410	524	643	706	790
県内求人数[社]	113	132	195	165	198
県外求人数[社]	297	392	448	541	592

生徒の就職先地域については以下のとおりです。今年も特徴としましては、県外では愛知県を中心とした中部地区への内定者が多いことです。トヨタ関連企業をはじめ製鉄会社など大手企業が集中し、生徒からは人気の高い地区となっております。昨年までは、四国や中国地区へは採用枠の拡大や高知県から近隣ということもあり、希望者が増加傾向にありましたが、今年は半数以下です。関東地区は例年同様若干名ですが、大手鉄道会社や製造業への内定者がいます。求人数が多い割に希望者が少なく苦慮しています。全体的には、昨年が就職希望の生徒が多く、県外希望者の割合も高かったため、今年度は昨年の半分の人数が県外企業で内定をいただいている状況です。何れの地区でも卒業生のご活躍により同窓会各支部活動の活性化が期待されます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

就職者の地域分類(過去5年間) ※平成29年11月10日現在

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
関東地区[人]	7	14	5	10	8
中部地区[人]	19	21	24	26	15
関西地区[人]	20	20	12	22	11
中国地区[人]	3	3	0	6	0
四国地区[人]	10	16	22	25	9
その他[人]	0	0	0	0	0
高知県内[人]	70(54%)	65(46%)	63(50%)	70(44%)	59(58%)
総計[人]	129	142	126	159	102

本年度の就職先一覧です。各地区におけるご指導よろしくお願いたします。

※平成29年11月10日現在

地区		事業所名	科	
関東	東京都	(株)TBC	テ	
		(株)ハウスイ	テ	
		(株)沖電気カスタマアドテック	シ	
		東京水道サービス(株)	ト	
		東京地下鉄(株)	ト	
	神奈川県	日本発条(株)	シ	
		横浜冷凍(株)	カ	
千葉県	新日鐵住金(株)君津製鐵所	キ		
中部	愛知県	アイシン・エイ・ダブリュ(株)	キ・テ	
		アイシン精機(株)(アイシン高等学園)	テ	
		愛知製鋼(株)(技術学園生)	キ・テ	
		黒金化成(株)知立工場	カ	
		(株)ジェイテクト(学園生)	キ	
		新日鐵住金(株)名古屋製鐵所	テ	
		大同特殊鋼(株)(技術学園生)	キ	
		中部電力(株)	テ	
		トヨタ紡織(株)(トヨタ紡織学園生)	キ	
		(株)豊田自動織機(技能専修学園生)	キ	
		(株)デンソー(高専生)	キ	
		日本特殊陶業(株)小牧工場	テ	
		三重県	水谷建設(株)	ト
	関西	大阪府	(株)かんでんエンジニアリング	テ
藤井電気工事(株)			テ	
(株)きんでん			テ	
(株)クボタ			テ	
三栄電気工業(株)			テ	
(株)太洋工作所			シ	
矢崎化工(株)大阪工場			カ	
五洋紙工(株)			カ	
日新シール工業(株)			ソ	
兵庫県		新日鐵住金(株)鋼管事業所尼崎製造所	テ	
和歌山県	花王(株)和歌山工場	カ		
四国	広島県	西日本高速道路メンテナンス中国(株)	ト	
		香川県	一般財団法人四国電気保安協会	テ
			四電ビジネス(株)	テ
			三菱マテリアル(株)	カ
	愛媛県	西日本高速道路エンジニアリング四国(株)	ト	
		四国通建(株)	テ	
	徳島県	大王製紙(株)	カ	
		(株)大塚製薬工場	テ	
	県内	高知県	四国建設コンサルタント(株)	ト
			明星産商(株)	キ・シ・カ・カ
(株)小谷穀粉			キ	
		(株)ミロク製作所	キ	

地区		事業所名	科
高知県	高知県	北村商事(株)	キ
		兼松エンジニアリング(株)	キ
		(株)山崎技研	キ・キ
		(株)SKK	キ
		住友大阪セメント(株)高知工場	キ・カ
		ヤンマー農機製造(株)高知工場	キ
		新高知重工(株)	キ
		ツカサ重機(株)	キ
		(株)太陽	キ
		ニッポン高度紙工業(株)	キ
		(株)四電工高知支店	テ・テ
		荒川電工(株)	テ
		とさでん交通(株)	テ
		(株)技研製作所	シ・ソ
		パシフィックソフトウェア開発(株)	シ
		東洋平成ポリマー(株)	カ
		(株)フタガミ	カ
		ヴェオリア・ジェネッツ(株)	カ・ソ
		土佐酸素(株)	カ
		金星製紙(株)	カ・カ
		ネットトヨタ南国(株)	カ
		東洋電化工業(株)	カ・カ
		(株)東洋電化テクノリサーチ	カ
		(有)アイビー設計	カ
		入交建設(株)	ト
		(株)第一コンサルタンツ	ト・ト
		(株)建設マネジメント四国	ト・ト
		福留開発(株)	ト
		ミタニ建設工業(株)	ト・ケ
		大旺新洋(株)	ト
		関西新洋西山(株)	ト
		都市開発コンサルタント(株)	ト
		柳生基礎センター(株)	ト
		(株)サン土木コンサルタント	ト
		(株)轟組	ケ・ケ
		益岡工務店(株)	ケ
		(株)岸之上工務店	ケ
		(株)平山	ケ
		(株)よどや	ソ
		(株)高知ヤマザキ	ソ
		セキスイハイム東四国(株)	ソ
高知市役所初級機械	キ		
高知市役所初級建築	ケ・ケ・ケ		
高知市役所初級土木	ト・ト		

最近の進学状況について

進学指導部長 安芸 暢英

昨年度の具体的な進学状況は、大学52名（国公立23名〔高知大学3名・高知工科大学18名・高知県立大学1名・長岡造形大学1名〕、私立大学29名）、専門各種学校41名、短大・ポリテク等が16名でした。（別表「平成28年度 科別進学者数」を参照下さい。）高知工科大学は5年前から高知県内高校枠を削減し、入試制度においても小論文が無くなり面接重視型に変わり、システム工学群では口頭試問が実施されるなか、合格実績は全学群合わせて18名でした。今年度入試からはシステム工学群に県内枠のAO入試が導入されたり、県内推薦人数枠が減少したり、環境理工学群ではセンター試験利用の推薦が導入されたり、また県内推薦人数枠の減少など入試制度の見直しが続いています。

本校の最近の進学についてみると、例年約半数が進学していましたが、今年は就職の数が多くなり全体の約40%が進学となっています。しかし、4年制大学へ進学者の数は50名程度であり、例年とあまり変化はなく、専門学校進学者の数が例年より20名程度減少しています。その中でも国公立大学への進学者数は30人前後と全国の他の工業高校に比べ多く、高い進学率になっています。中でも、地元の工業系大学である高知工科大学への進学者が多くを占めています。高知工科大学の結果は、全て高知県内高校枠を使用した推薦入試によるものです。また、他の国公立大学への進学は、主に専門学校枠のAO入試や推薦入試を使用することで実績を挙げています。

また、高知大学理学部は理工学部へ改組される中、情報科学科に3名合格と実績を残すことができました。今後もAO入試を含め、情報の口頭試問が科せられる情報科学科の10人枠（全国枠）を中心に挑戦する生徒に期待したいと思っています。

そして、全国的な流れとして大学入試改革として、2020年度（現中学3年生から対象）から「大学入学共通テスト」として、思考力・判断力・表現力を中心に評価することで大学教育を受けるために必要な能力を測定することを目的

としたテストの実施が検討されています。現行の大学入試センター試験は全てマークシート方式で実施されていますが、「大学入学共通テスト」では一部記述問題が導入されます。当初は国語と数学で実施され、2024年度以降からは地理歴史・公民や理科分野に広げることが検討されているということです。

また、2019年度（現高校1年生から対象）から「高校生のための学びの基礎診断」も考えられています。それは、これからの社会で必要とされる能力を踏まえ、大学進学希望者に限らず、すべての高校生の学習意欲の喚起と基礎学力定着に向けた試みとしています。

そして、中教審は2019年の開学を目指し、実践的な職業教育を行う新しい高等教育機関として「専門職大学」の創設を答申しました。それは、成長分野の現場でけん引役となる人材を育成、企業内実習は4年制課程で600時間以上の履修を義務付けるとしています。県下では、高知リハビリテーション学院がその動きを見せています。

このように大学の学科改変や大学入試制度、専門職大学など大きく変貌をしようとしている中で、工業高校生徒の大学進学の手段方法に対してアンテナを張って情報を集めなくてはならない状況になっています。同窓生の皆様におかれましても、ご助言等ございましたらよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、同窓会の今後ますますのご発展と、同窓会各位のご活躍をご祈念申し上げます。

平成28年度 科別進学者数

	機械	電気	情報	化学	土木	建築	総合	計
国公立大学	0	0	15	2	0	5	1	23
私立大学	2	0	4	4	3	8	8	29
私立短大	0	0	1	0	0	1	5	7
高専	0	0	0	0	0	0	0	0
ポリテク・他	0	2	5	0	0	1	0	8
職業訓練校	1	0	0	0	0	0	0	1
専門学校	2	1	3	5	7	7	16	41
各種学校	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	3	28	11	22	22	30	109

相撲場落成記念イベントを終えて

相撲部顧問 西尾 光由

平成29年4月9日に高知工業高校新相撲場落成記念式典、4月16日には落成イベントを開催しました。おかげさまで、ご参加いただいた皆様には大変喜んでいただき、良い記念式典・落成イベントとなりました。

落成イベントにはお忙しい中、元土佐豊、佐ノ山親方（本校相撲部OB森下祐哉氏）にご参加いただきました。『ちびっこ100人で四股を踏もう!!』ではちびっこ達と一緒に四股を踏んでいただき、ちびっこ達にも良い記念になったことと思います。

また、落成を機に小学生、中学生対象の『高知工業相撲クラブ』を立ち上げましたところ、早速数名の子供達が参加し、高知新聞にも活動の様子が紹介されました。（平成29年5月7日（日）高知新聞朝刊掲載）

現在、相撲人口が激減している状況であり、部員確保も難しい時代となりました。そんな中、「相撲が大好きです」「稀勢の里みたいに強くなりたい」と言ってくれる子供達と一緒に日々汗を流しています。この中から今後の相撲界を担ってくれる選手や力士が育つことを願っております。

5月の連休には高知県国体強化合宿を本校相撲場で行いました。県内の高校生、中学生、小学生が集まり賑やかな土俵となりました。

今後とも高知工業高校相撲部をよろしく願います。



部活動の成績

◇全国大会出場

陸上競技部

- 平成29年度 全国高等学校総合体育大会
秩父宮賜杯第70回全国高等学校陸上競技対校
選手権大会
平成29年8月1日
山形県天童市NDソフトスタジアム山形

少林寺拳法

- 平成29年度 全国高等学校総合体育大会少林
寺拳法競技大会
平成29年8月5日～7日
宮城県塩釜ガス体育館

空手道部

- 平成29年度 全国高等学校総合体育大会空手
道競技大会
平成29年7月28日～7月31日
福島県猪苗代総合体育館カメリーナ

ソフトボール部

- 平成29年度 全国高等学校総合体育大会ソフ
トボール競技大会
平成29年8月5日～8日
山形県南陽市向山公園ソフトボール場

ボート部

- 平成29年度 全国高等学校総合体育大会ボー
ト競技大会
第65回全日本高等学校選手権競漕大会
平成29年8月2日～6日
宮城県登米市アイエス総合ボートランド
(長沼ボート場)

自転車部

- 平成29年度 全国高等学校総合体育自転車競
技大会
平成29年7月26日～30日
トラック競技：福島県いわき平競輪場
ロード競技：福島県石川町・浅川町周回特
設コース

水泳部

- 平成29年度 全国高等学校総合体育大会水泳
競技大会（飛込競技）
第85回日本高等学校選手権水泳競技大会（飛
込競技）
平成29年8月17日～20日
宮城県利府町セントラルスポーツ宮城G21
プール

◇四国大会出場

陸上競技部

- 第70回四国高等学校陸上競技対校選手権大会
平成29年6月17日～19日
愛媛県総合運動公園陸上競技場

空手道部

- 平成29年度 四国高等学校空手道選手権大会
平成29年6月17日・18日
高知県立武道館

少林寺拳法部

- 平成29年度 第12回四国高等学校少林寺拳法
選手権大会
平成29年6月17日・18日
愛媛県武道館

ソフトボール部

- 平成29年度 四国高等学校男子ソフトボール
選手権大会
平成29年6月17日・18日
徳島市民吉野川北岸運動広場ソフトボール
場

自転車部

- 平成29年度 第49回四国高等学校自転車競技
選手権大会
平成29年6月10日・17日・18日
広島県立中央森林公園・高知競輪場（りょ
うまスタジアム）

水泳部

- 第68回四国高等学校選手権水泳競技大会
平成29年7月16日
高知県立春野総合運動公園水泳場
- 第68回四国高等学校選手権水泳競技大会
平成29年7月15日・16日
高知市くろしおアリーナ
- 2017年度関西選手権水泳（飛込）競技大会
平成29年6月23日～25日
大阪府大阪市大阪プール

ボート部

- 第26回四国高等学校ボート選手権大会
平成29年6月17日・18日
愛媛県今治市玉川町玉川湖漕艇場1,000m
コース

本部より

1. 105周年記念事業

平成29年11月3日・4日の母校文化祭に合わせて、同窓会では105周年歴史資料展を行いました。部活動の活躍や卒業生の出版物、芸術作品等を展示し、多くの方にご来場いただきました。展示の様子などはHPに掲載しておりますのでご覧ください。

2. 事業計画・経過報告

月	日	事業内容
4	1	会計監査
	8	半世紀・四半世紀世話人会
	9	第1回常任役員会・理事会
		高知工業高等学校相撲場落成記念イベント
	16	高知工業高等学校相撲ふれあいイベント
	28	開校記念ゴルフ大会
29	総会(ザ クラウンパレス新阪急高知)	
5	2	高知工業高等学校開校記念講演
	20	野球部OB会総会
	25	奨学資金貸与募集開始
6	17	大阪支部(鯨工会)総会(設立40周年)
	30	幡多支部(波多愛好会)総会
7	8	東海支部(南風会)総会
	15	物部川支部総会
9	9	同窓会・PTAによる就職模擬面接
		安芸支部(芸工会)総会
		第1回青年部会
10	14	東京支部(桂工会)総会

月	日	事業内容
10	28	次年度半世紀・四半世紀世話人会
3・4	5	文化祭(創立105周年歴史資料展)
		静岡支部(静桂会)総会
		野球部創部100周年記念祝賀会
11	12	バスケットボール部OB会
	18	室戸支部(室戸鯨工会)総会
		土木科同窓会
	26	嶺北支部(吉野川会)総会
12	2	第3回常任役員会
	8	第2回青年部会
	22	『工業、富国、基』読書感想文優秀作品表彰
	28	轟組高知工業OB会
1	28	青年部主催 筆山公園除草作業
2	5	同窓会会報(第57号)発送
		同窓会入会式・記念品贈呈(定時制)
		同窓会入会式・記念品贈呈(全日制)
3	1	生徒と県外支部との懇談会
		同窓会通信の配布
3	1	同窓会通信の配布
		四電高知支部総会

3. 平成29年度役員

役職	卒年・科		氏名
名誉会長	昭和53	情報技術	横畑 健
会長	昭和39	機械	包國 勝
副会長	昭和38	土木	徳弘 昭宏
	昭和45	土木	右城 猛
	昭和46	電気	吉永 洋一
	昭和50	芸芸	手島 健司
	昭和55	電気	森澤 昌三
	昭和56	建築	筒井 眞二
	昭和59	土木	宮崎 功司
	昭和60	機械	北川 雅規
			山本 泰史
			藤原 章弘
監事	昭和48	電気	今井 康浩
	昭和58	電気	大窪 和男
事務局長	昭和47	工業化学	増田 穂波
事務局次長 (会計担当)	昭和46	電気	中野 邦彦
			矢野 元朗

4. 同窓会支部組織

同 窓 会 組 織			
名 称	役 職	氏 名 (卒年科)	連 絡 先
同 窓 会 本 部	会 長 事務局長	包國 勝 (昭39キ) 中野 邦彦 (昭47カ)	本部直通 TEL 088-831-4133 kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp
東 京 支 部 (桂工会)	支 部 長 事務局長	谷岡 健吉 (昭41テ) 岩崎友太郎 (昭40コ)	
静 岡 支 部 (静桂会)	支 部 長 事務局長	小川 純一 (昭37キ) 片岡 結 (昭42テ)	
東 海 支 部 (南風会)	支 部 長 事務局長	松村 司郎 (昭36テ) 金田 耕喜 (昭48テ)	
大 阪 支 部 (鯨工会)	支 部 長 事務局長	堀田 秀雄 (昭43ト) 杉山 康弘 (昭61ケ)	
室 戸 支 部 (室戸鯨工会)	支 部 長 事務局長	山本 總 (昭54ト) 前田 康司 (平3カ)	
安 芸 支 部 (芸工会)	支 部 長 事務局長	黒岩 良行 (昭40テ) 山手 敏和 (昭49テ)	
物 部 川 支 部	支 部 長 事務局長	眞辺 慶一 (昭42テ) 野島 浩一 (昭57ト)	
嶺 北 支 部 (吉野川会)	支 部 長 事務局長	西村 行雄 (昭37ト) 川村 博彦 (昭51キ)	
幡 多 支 部 (波多愛校会)	支 部 長 事務局長	福田 充 (昭44ケ) 小笠原 武 (昭52テ)	

5. 業務時間について

本部にご用の方は、下記時間帯にお願いします。

11:00~15:30 (水曜日・土日・祝祭日を除く)

尚、HPからもお問い合わせが出来ますのでご活用下さい。



高知県立高知工業高等学校同窓会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は高知県立高知工業高等学校同窓会と称する。

(目 的)

第2条 本会は、会員相互の親睦と向上を図ると共に、母校の隆盛・発展に寄与することを目的とする。

(本 部)

第3条 本会は、本部を高知市棧橋通2丁目11番6号高知県立高知工業高等学校におく。

第2章 事 業

(事 業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 会員の連携と親睦を深めるための事業
2. 母校の事業支援
3. 会員名簿の作成
4. 会報の発行
5. その他本会の目的達成に必要な諸事業

第3章 組 織

(会 員)

第5条 本会は、次の会員をもって組織する。

1. 正会員
 - (イ) 高知工業学校を卒業した者
 - (ロ) 高知工業高等学校を卒業した者
 - (ハ) 高知市立高知工芸学校を卒業した者
 - (ニ) 高知市立工芸高等学校を卒業した者
 - (ホ) 高知工業学校工場見習修了者及び技術員養成所修了者
 - (ヘ) (イ)、(ロ)に在籍した者で役員の推薦により会長が承認した者
2. 特別会員
 - (イ) 本校に特別縁故のある人で役員の推薦により会長が承認した者

(役 員)

第6条 本会は、次の役員をおく。

1. 会 長 1名
2. 副会長 若干名
3. 事務局長 1名
4. 事務局次長(会計担当) 1名
5. 監 事 2名
6. 理 事 若干名

(役員の仕事)

第7条 本会の役員は次の仕事を負う。

1. 会長は、常任役員会を招集し、会務を統括し本会を代表する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長不在若しくは事故ある時は、その仕事を代行する。
3. 事務局長は、事務全般を統括する。
4. 事務局次長は会計事務を担当する。
5. 監事は、会計を監査する。
6. 理事は理事会に出席し、常任役員会の諮問事項を審議する。

(役員を選出)

第8条 本会の役員は、次のように選出する。

1. 会長、副会長及び監事は理事会において正会員より選出し、総会の承認を得る。

2. 理事は、正会員の中から会長が委嘱する。
3. 事務局長、事務局次長は、正会員の中から会長が指名する。
4. 母校校長を名誉会長に推薦する。
5. 母校副校長、教頭を副会長に推薦する。

第9条 本会に顧問及び相談役をおくことができる。
顧問及び相談役は、常任役員会または理事会の推薦により会長が委嘱する。

(役員任期)

第10条 事務局長、事務局次長以外の役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

第4章 会 議

(会 議)

第11条 本会の会議は、総会・常任役員会・理事会とする。

(総 会)

第12条 総会は、本会の最高議決機関で、会長がこれを招集する。

(常任役員会)

第13条 常任役員会は、会長・名誉会長・副会長・事務局長・事務局次長・監事で構成する。
常任役員会は、本会の執行機関で、その任務は次の通りとする。

1. 総会で議決された事項の執行
2. 総会に提出する予算の編成、事業計画の立案、報告書の作成
3. 予算の補正並びに決算書の作成
4. 本会則の改正案の作成
5. その他必要と認める事項

(理事会)

第14条 理事会の構成は、顧問、相談役、理事、常任役員とする。
理事会は会長が招集し、常任役員会の諮問事項を審議する。

(会議の議決)

第15条 議決は出席会員の過半数による。

(支 部)

第16条 本会には、会員の多い地域・職域に支部を置くことができる。
支部には支部長をおき、支部長は会長の委嘱により理事となる。

第5章 会 計

(運営経費)

第17条 本会の運営経費は、入会金・会費・寄付及びその他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日をもって終わる。

第6章 会則の改正

(会則の改正)

第19条 会則の改正は総会において、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。

(付 則)

昭和29年11月25日改正
昭和43年5月4日改正
昭和44年5月8日改正
平成3年5月4日改正
平成7年5月3日改正
平成23年5月4日改正
平成26年5月4日改正

高知県立高知工業高等学校同窓会個人情報保護に関する方針

高知県立高知工業高等学校同窓会（以下「同窓会」といいます）は、個人情報の重要性を認め、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

同窓会は、会則の第2条「本会は会員の親和並びに母校の隆盛を図ることを目的とする。」の目的を達成するための事業を運営していくにあたり、「個人情報の保護に関する法律」を遵守するため、以下の「個人情報の保護に関する基本方針」を制定し、会員の個人情報の取り扱いと保護について、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行ないます。

会員の皆さまの個人情報の取扱いについて

ご提供頂きました個人情報に関しましては、同窓会事業にのみ使用させていただきます。

会員名簿への非掲載をご希望の場合は、その旨を同窓会事務局までお知らせください。

もしご連絡が無い場合は、個人情報の名簿掲載をご承諾頂いたものとして従来通りの名簿掲載をさせていただきます。

個人情報の保護に関する基本方針

同窓会は、個人情報保護の重要性を認識し、「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令等を遵守して、会員に関わる個人情報の保護に努めるとともに、適正且つ公正な同窓会の事業活動を推進します。

1. 個人情報の取得

個人情報の取得にあたっては、適法かつ公正な手段で行います。

2. 個人情報の利用目的

個人情報は、同窓会会則の第2条に掲げる目的を達成するために、会員名簿の作成・発行、会報及び高知県立高知工業高等学校からの通信文書の送付など適正かつ公正な同窓会の運営に役立つ目的のみに利用します。

3. 第三者への情報提供

会員の同意を得ることなく会員以外の第三者に個人情報を提供しません。ただし、利用目的を確認し許容の範囲内で、高知県立高知工業高等学校、同窓会各支部、同窓会役員等に、会員名簿記載事項等の個人情報を提供することがあります。また、会員名簿印刷等の業務遂行上、必要な場合は個人情報の保全管理を外部に委託することがあります。

4. 個人情報の管理

保有または新たに取得する個人情報は、これを正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざんまたは漏洩などのないよう適切な管理を実施します。なお、業務遂行上、個人情報の保全管理を外部に委託する場合は、契約書を締結して同様に適切な管理を実施します。

5. 保有個人情報の開示、訂正、利用停止等

本会は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止・消去等を求める権利を有していることを認識し、会員よりこれらの要求がある場合には、法令に従い速やかに対応します。ただし、会員名簿への非掲載希望については、希望時期により対応できないことがあります。その場合、次の名簿より非掲載とします。

6. 法令等の遵守・個人情報の保護に関する基本方針の改定

個人情報に関して適用される法令等を遵守するとともに、法令等の改正に従って、この個人情報の保護に関する基本方針を改定するなど、継続的な改善・向上に努めます。

平成19年6月12日
高知県立高知工業高等学校同窓会

■個人情報についての問合せ先

Tel：088-831-4133／Fax：088-831-4133
e-mail：kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp
高知県立高知工業高等学校同窓会



高知県立高知工業高等学校同窓会

〒780-8010 高知県高知市棧橋通2丁目11-6
tel 088-831-4133 fax 088-831-4133
e-mail: kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp

高知工業高校同窓会

検索